

科目番号	61	科目名	情報技術と社会(TA)	
英文科目名	Information Technology and Society (TA)			
大学・短期大学名	立命館 大学			
連絡先	〒525-8577 滋賀県草津市野路東1丁目1-1			
	TEL :	077-561-4972	FAX :	077-561-3935
担当教員	萩原 啓 (情報理工 学部 教授)			
教室名	コラーニングハウス I 109 / Web (manaba+R)	会場	立命館大学BKC(びわこ・くさつ)キャンパス	
授業期間	2021 年 4 月 12 日 (月) ~ 2021 年 7 月 19 日 (月) <毎週 月曜日> 5 時限・講時 16 : 20 ~ 17 : 50 ※ただし、本学の学年暦により第8回目の授業は6/5(土)となる。			
超過時の選考方法	出願票に記載の志望理由による選考口			
成績評価方法	定期試験 (筆記)			%
	レポート試験 (期末)			%
	平常点 (出席・授業態度)	100		%
	その他 ()			%
別途負担費用	(なし)		あり()円	
その他特記事項				
<講義概要・到達目標>				
【授業実施形態】 第1回をWEB授業(オンデマンド)、第2回～第15回を対面にて実施。(受講登録の結果、受講者が教室定員の50%を超えた場合、受講者を学生証番号が奇数のグループと偶数のグループで分ける方法等で、対面出席のグループとWEB配信のグループに分け、2グループを入れ替える出席調整をする場合がある。それでも身体的距離が十分に確保できない場合は、全員「WEB」授業に切り替える場合がある。)				
【授業の概要と方法】 社会は急速に情報化社会に移行している。すなわち、大量生産による効率向上を目指した社会から、個性化重視の情報化社会に移りつつある。 本科目では、情報化社会を支える情報技術について学ぶとともに、情報技術によって人々の社会生活がどのように変わってきているのかを、具体的な例をあげて考察する。				
【到達目標】 1.情報社会を支えるコンピュータおよびネットワークの基本的な仕組みを理解し、説明できる。 2.情報技術を活用した製品やサービスが社会に与える影響について理解し、説明できる。 3.情報社会の進展にともなう課題とその対策について理解し、説明できる。				
【成績評価方法】 平常点評価。小テスト、レポート課題を課す。登校が困難な事情のある学生には別途指示を行うので申し出ること。				
【受講および研究に関するアドバイス】 めまぐるしく変遷している情報社会について興味と問題意識を持って学習してください。				

<授業スケジュール>

回	月日	テーマ・キーワード
1	4月12日	イントロダクション:情報技術の発展と社会へのインパクト
2	4月19日	情報技術の基礎(1):コンピュータとソフトウェアの基礎
3	4月26日	情報技術の基礎(2):コミュニケーションネットワークの基礎
4	5月10日	情報技術の基礎(3):インターネットの発展(1)
5	5月17日	情報技術の基礎(4):インターネットの発展(2)
6	5月24日	情報技術の基礎(5):インターネットの発展(3)
7	5月31日	情報社会の可能性(1):IT革命とその影響
8	6月5日	情報社会の可能性(2):企業と情報システム
9	6月7日	情報社会の可能性(3):意思決定と企業経営
10	6月14日	情報社会の可能性(4):eビジネス
11	6月21日	情報社会の可能性(5):暮らしの中のIT
12	6月28日	情報社会の可能性(6):情報社会のこれから
13	7月5日	情報社会の影(1):情報社会の危険性
14	7月12日	情報社会の影(2):情報セキュリティの技術
15	7月19日	情報社会の影(3):情報倫理

<教科書・参考書>

【教科書】

毎回レジュメを配布する

【参考書】

『インターネットの光と影Ver.6』情報教育学研究会(IEC)情報倫理教育研究グループ(編集)(北大路書房:978-4-7628-3006-8)

『インターネットビジネス概論 第2版』片岡信弘、工藤司、石野正彦、五月女健治(共立出版:978-4-320-12434-9)

【参考になるwwwページ】

授業中に適宜紹介するのでぜひアクセスしてみてください。